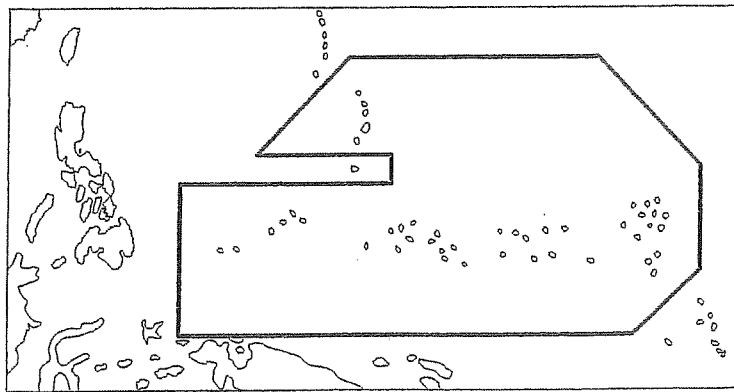


## 第 2 問

国家の歴史は境界線と切り離せない。境界をめぐる争いは絶え間なく起こり、現地の生活を無視して恣意的に境界線が引かれることも頻繁であった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) 19世紀半ば以降、南アジアではイギリスによる本格的な植民地支配が進展した。英領インドを支配する植民地当局は1905年にベンガル分割令を制定したが、この法令は、ベンガル州をどのように分割し、いかなる結果を生じさせることを意図して制定されたのかを3行以内で説明しなさい。

問(2) 太平洋諸地域は近代に入ると世界の一体化に組み込まれ、植民地支配の境界線が引かれた。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。



地 図

(a) 地図中の太線で囲まれた諸島が、19世紀末から1920年代までにたどった経緯を2行以内で説明しなさい。

(b) ニュージーランドが1920~30年代に経験した、政治的な地位の変化について2行以内で説明しなさい。